

徳山の盆踊を奉納 夜まで続く熱気と伝統の舞

伝統行事である徳山の盆踊が奉納され、
町内外から観客が集まり、徳山の夜は熱気に包まれました。



4



1



2



5



3

- 1 「道行き」出発前の真剣なまなざし
- 2 暗闇に浮かぶ舞台上で演じる「狂言」
- 3 舞い手の後に続き鹿ん舞を楽しむ
- 4 5 小中学生の女子が踊る「ヒーヤイ」



あやぼう
浅間神社で紅白の綾棒を回し飛び跳ねるように鹿ん舞を舞う



ダイドーグループホールディングス株式会社が提供する全国のお祭りを応援するテレビ番組「日本の祭り」（9月27日放映）に、静岡県から今年、徳山の盆踊が選ばれました。例祭当日、同社高松社長が渡邊副町長に「選定の証」を授与し、「この企画が伝統をつなぐきっかけになれば」と期待を寄せました。

徳山浅間神社へと向かいました。
ヒーヤイ・狂言・鹿ん舞
神社の中心に設けられた舞台では、優雅で美しいヒーヤイを静かに踊り、威風堂々とした狂言が演じられました。そして、舞台の周囲を駆けるように力強い鹿ん舞が舞い、その迫力あふれる姿は多くの見物客を魅了し、夜が更けるにつれて会場の熱気は一層高まってきました。

「徳山の盆踊」今年も熱演
8月15日、徳山区にて国指定重要無形民俗文化財でユネスコ無形文化遺産に登録されている「徳山の盆踊」が、徳山古典芸能保存会伝承者と町内の小中学生たちにより奉納されました。
神事を執り行い、徳山コミュニティ防災センターを出発した舞い手一行は、愛宕地蔵堂の前でヒーヤイと鹿ん舞を奉納。舞い手たちは「出る出る出るよ、鹿ん舞が出るよ」の大きなかけ声と共に進み、伝統を込めた道行きを行いながら



愛宕地蔵堂前・道行きにて



舗装前の真っ白な日掛大橋と、それを彩る光の森学園児童の希望に満ちた絵

Pick Up #02

新たに架かった日掛大橋を 光の森学園児童が彩りました

富士城バイパス・日掛大橋の橋梁上部の施工が完了し、
児童たちの手によって、橋名板の設置と大きな絵が描かれました。



ローラーと刷毛で丁寧に色塗り



1文字ずつ書いた橋名板を持つ6年生

自分たちの手で思い出を 6年生が橋名板を設置

国道362号富士城バイパス・日掛大橋の本体工事は、令和3年3月に始まり、このほど橋梁上部の施工が完了しました。それを記念して、9月3日に光の森学園児童による橋名板の設置と、橋に絵を描く体験が行われました。

橋名板は6年生が1文字ずつ書いた文字を先生がつなぎ合わせて制作され、児童の手で橋に取り付けました。設置を終えた6年生は、1年生から5年生に合流し、色塗りを手伝いました。

チームで描いた大きな絵

絵は1年生から5年生の学年を超えた4つのチームで7月から準備を始め、「新しい橋を明るく飾るなら、どんな絵がいいだろう」とアイデアを出し合い下絵を制作。富士山や花、気球などのイラストを、5年生を中心に仕上げました。

当日は、橋の床版コンクリートにチョークで下書きし、ローラーや刷毛を手に、チームごとに協力しながらペンキで色を塗りしました。その後、時間いっぱいまで描き

上げた大きな絵を、ドローンで上空から記録しました。

普段、画用紙に描くことはあっても、道路いっばいに絵を描くのは特別な体験です。子どもたちは帰校後も「あんなに大きな絵が描けるなんて思わなかった」と、初めての体験に興味が冷めない様子でした。

絵が消えても残る 特別な思い出

橋梁工事を担った高田機工株式会社の玉野課長は、「こうしたイベントは、地域との関係性がなければ実現できません」と話します。

今後のアスファルト舗装によって、子どもたちが描いた絵は見えなくなりそうです。それでも、自分たちで橋名板を取り付け、大きな絵を描いた経験は、子どもたちにとって特別な思い出として残ります。

「橋は地域の方々がこれから歩んでいくもの。子どもたちを含め、皆さんが少しでもこの橋に思い入れを持ってくれば」と玉野課長は願いを込めて語りました。

子どもたちの思いが込められた日掛大橋は、開通に向けて次の工程へと進みます。

子育て支援施設こもれび 毎年好評の夏祭りを開催しました

絵本「きんぎょがにげた」がテーマの楽しい夏祭り。
職員手作りの飾りや遊びに、笑顔あふれるひとときを過ごしました。



ワニが出てきても、かわいそうでたたけない・・・



フォトスポットで記念撮影

8月6日、地名地区の子育て支援施設こもれびにて、夏祭りイベントが開催され、親子7組16名が参加しました。今回のテーマは絵本「きんぎょがにげた」です。職員手作りの装飾で水族館のように彩られた会場には、フォトスポットも用意され、親子で楽しみながら記念撮影をするなど、終始笑顔であふれていました。

夏祭りの夜店をイメージした遊びのブースでは、玉入れやくじ引き、製作コーナーのほか、タイミンクを合わせてワニをたたくゲームなど、職員が工夫を凝らした遊びで楽しみました。

絵本テーマの楽しい夏祭り